

2020年8月26日

## 新型コロナウイルス感染症対策下の大会開催マニュアルについて

新日本スポーツ連盟全国卓球協議会

運営委員長 鈴木 義弘

各都道府県各地域協議会のみなさま。新型コロナウイルス感染症が終息せず大会開催が困難となりいろいろとご苦勞なされていることと思います。各地から「大会を開催したいがどうしたらよいか?」、「新型コロナウイルス対策はどうしたらよいか?」、「ダブルスは種目に入れて良いか?」などという声が聞こえてきます。

大会開催のための一つの指針として日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、「日本卓球協会における新型コロナウイルス対策」を参考にマニュアルを以下作成しました活用してください。

### 1、最初に卓球大会開催にあたって

各都道府県の方針に従い、大会要項を作成し体育館側と相談調整する。体育館側が判断できない場合は開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等へ相談する。その場合対応した担当者名を必ず記録する、名刺をいただいて保管しておくのがベスト。

### 2、大会要項作成にあたって明記すべきこと

- ① 大会において新型コロナウイルスに感染した場合の責任の所在の有無  
(責任を負わないことや保証のないことの明記)
- ② 大会要項には感染拡大防止のために参加者が順守すべき事項を明確にし、協力を求めることまた、これを遵守できない参加者には他の参加者の安全を確保する観点から大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあること。
- ③ 現時点でダブルス競技はソーシャルディスタンス確保の観点から禁止。
- ④ 健康状態申告書の提出の義務
- ⑤ 体育館入り口での検温、健康状態申告書の提出において1つでもありの方の入場拒否、体温が37.5℃以上の方やマスク非着用の方の入場拒否、入場時の手指消毒
- ⑥ 観客席使用について、観客者の許可の有無(許可する場合の条件等)
- ⑦ 大声での応援やアドバイスの禁止(拍手を推奨)
- ⑧ マスクの着用(試合時以外はマスク着用)
- ⑨ こまめな手洗い、アルコール(70%以上を推奨)等による手指消毒
- ⑩ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

- ⑪ 参加費の支払いについて 参加費支払い済みで大会が中止になった時の払い戻しについて（当日支払いを推奨）
- ⑫ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合大会主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### 3、 大会当日主催者が準備することについて

#### ① 受付について

- ア、 体育館入り口のほかに競技会場入り口に受付を設け 2重チェックを推奨します。また、手指消毒液を必ず設置してください。
- イ、 受け取った健康状態申告書の取り扱いには注意し、保管責任者を決め厳重に保管すること。（プライバシーの保護）
- ウ、 受付は大会終了まで設置し、競技場内に不特定多数の人が入場しないようにすること。
- エ、 受付や本部席は席を 2m以上離す（最低 1m）また、密にならないよう目印をつける
- オ、 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- カ、 スタッフは必ずマスクを着用し、可能ならばフェイスガードも着用する。
- キ、 参加費はできる限りつり銭のないようお願いするか電子的決済の導入も検討すること（ペイペイ、ラインペイ等QRコード決済など）
- ク、 スタッフが参加者と物品（お金を含む）の受け渡しをする場合ビニール手袋の使用を推奨する、ビニール手袋がない場合はその都度手指の消毒を行う。

#### ② 手洗い場所や洗面所（トイレ）

- ア、 手洗い場所には石鹸（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- イ、「手洗いは 30 秒以上」等の掲示（厚労省の発表「手や指に付着したウイルスの数は石鹸やハンドソープで 10 秒もみ洗いし流水で 15 秒すすぐと 1 万分の 1 に減らせます。」）
- ウ、 手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参をお願いする。

#### ③ 更衣室（使用禁止にしても可）

- ア、 一度に入室する参加者の数の制限
- イ、 参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子）のこまめな消毒
- ウ、 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開けるなど換気に注意

### 4、 卓球競技会場（体育館）、試合進行上の注意点

#### ① 換気

- ア、 会場側（体育館側）と換気設備等の確認を行い適切に使用し、十分な換気を

行うこと（体育館の冷暖房設備は換気を伴わないものがあるので注意）

イ、換気設備がない場合出入口を2か所以上開放し、また上部窓や観覧席の窓を開放し十分な換気を行うこと。

ウ、競技会場の部屋を利用する場合こまめな換気を常時行う。

② 卓球台の設置、卓球台、ボールの消毒

ア、卓球台は4m以上の間隔をあける

イ、可能な限り卓球台ごとに消毒液設置（70%以上95%以下のエタノール濃度を推奨、厚労省の発表「60%台のエタノールによる消毒でも一定の有効性があると考えられる報告があり、70%以上のエタノールが入手困難な場合には60%台のエタノールを使用した消毒も差し支えない。」また、手指の消毒に次亜塩素酸水の効果は未評価、

参考：[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html))

ウ、試合前や試合後、試合中以外にボール、台、ネットその他付属設備に触れた場合必ず手指消毒を行う。

③ 審判がカウンターを使用する場合はビニール手袋の使用を推奨する、ビニール手袋がない場合使用后必ず手指とカウンターの消毒をおこなう。

④ 選手、コーチ用ベンチ、審判席は試合終了ごとに消毒。

⑤ 試合について

ア、ゲームごとのチェンジエンドの禁止

イ、タオルの共用の禁止

ウ、飲料の飲みまわしの禁止

エ、卓球台や、シューズの裏等で手汗を拭くことの禁止

オ、カウントの合計が6の倍数以外でも手汗を拭く程度であればタオルの使用を認める

カ、握手など体を接触する挨拶は禁止

キ、ラケット交換の禁止

ク、大声での発声や応援の禁止（拍手での応援を推奨）

5、その他

大会出場者から新型コロナウイルス感染者が出た場合は「卓球大会参加者の新型コロナウイルス感染について」を用い速やかに報告してください。また、その場合は各地域の保健所と密に連絡を取りその指示に従い、個人の判断で公表しないようにしてください。感染者のプライバシーに十分配慮するようにお願いします。

※不明な点は必ず全国卓球協議会事務局に相談してください。